

資源のみち部門

東部スラッジプラント汚泥炭化事業による汚泥燃焼化

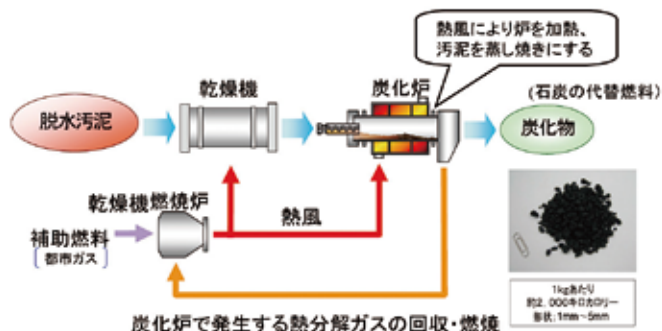
東京都

汚泥炭化施設

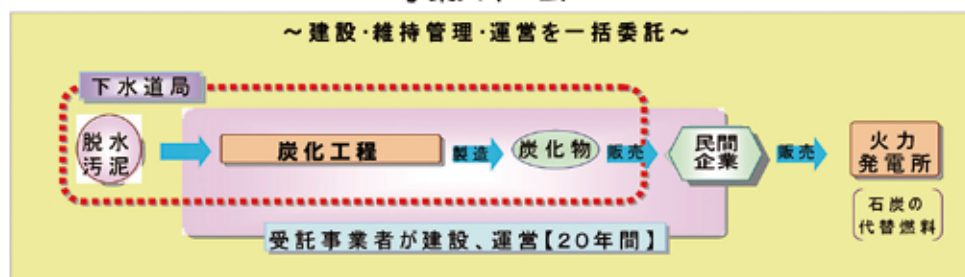


- ・汚泥処理能力：300 t/日
- ・汚泥処理量：約 99,000 t/年
- ・炭化物製造量：約 8,700 t/年

炭化物製造工程

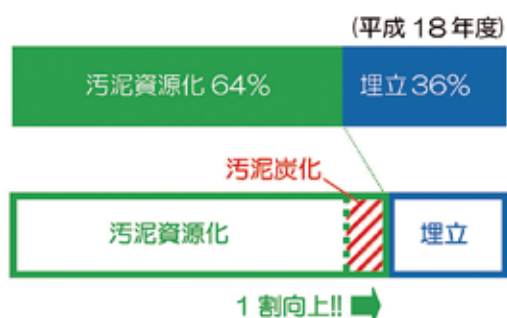


事業スキーム



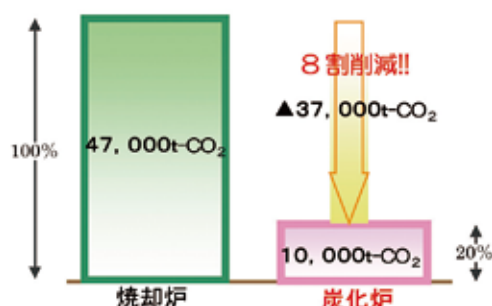
- ・炭化物の利用先を安定的に確保するスキーム
(設計・建設・維持管理・運営を一括委託、製造した炭化物の全量買い取り：20年間)

事業効果① 汚泥資源化率の向上
～焼却灰埋立量の削減～



- ・汚泥資源化率が約1割向上

事業効果② 温室効果ガスの削減
(年間排出量-CO2換算)



- ・従来と比較して温室効果ガスの排出量
約8割削減

東京都下水道局では下水汚泥から炭化物を製造し、火力発電所における石炭の代替燃料として利用する取組を国内で初めて事業化しました。

この取組は汚泥の資源化を進めるとともに、温室効果ガスの削減により地球温暖化防止に貢献するものです。

施設の設計・建設・維持管理及び運営を一括委託し、委託事業者が製造した炭化物を20年間にわたり全量買い取ることとしています。